



金沢大学
ダイバーシティ推進機構
Institute for Promotion of
Diversity and Inclusion, Kanazawa University

領域横断セミナーシリーズ

Session 2

共同研究への扉を開く ダイバーシティセミナー

～多様な出会いから広がる研究の可能性～



2026年10月20日(火)

17:30 ～ 19:00 (開場 17:00)



金沢大学附属病院
4階宝町ホール

参加費
無料



講演

臨床医と研究者のスクランブル交差点

～産婦人科医が知りたい『子宮筋』の謎～

An Intersection of Clinicians and Researchers

～ The Mysteries of the Uterine Muscle—Questions from an Obstetrician-Gynecologist ～

安彦 郁 先生

金沢大学医薬保健研究域 医学系 産科婦人科学 教授

ABIKO Kaoru

Professor, Department of Obstetrics and Gynecology, Faculty of Medicine, Kanazawa University

子宮の壁は、その大部分が平滑筋(子宮筋)でできています。月経中、子宮筋は血液を排出する方向に収縮し、排卵期には精子を子宮内へ運ぶ方向に収縮し、受精卵が着床する黄体期には静止します。妊娠すると子宮筋細胞は著しく肥大し、妊娠満期には数分ごとに強く収縮して(陣痛)、3kgもの新生児を娩出させます。一方、子宮筋から発生する子宮筋腫は女性の約半数にみられ、ときには1kgを超える大きさにまでなります。本セミナーでは、「子宮筋」の不思議にフォーカスを当て、それらを新たな研究のシーズとしてお話しします。異分野の研究者の皆さんと、子宮筋の不思議を共有できればと思います。

お問合せ

金沢大学ダイバーシティ推進機構 後藤 典子

☎ 076-264-6730

✉ ngotoh@staff.kanazawa-u.ac.jp